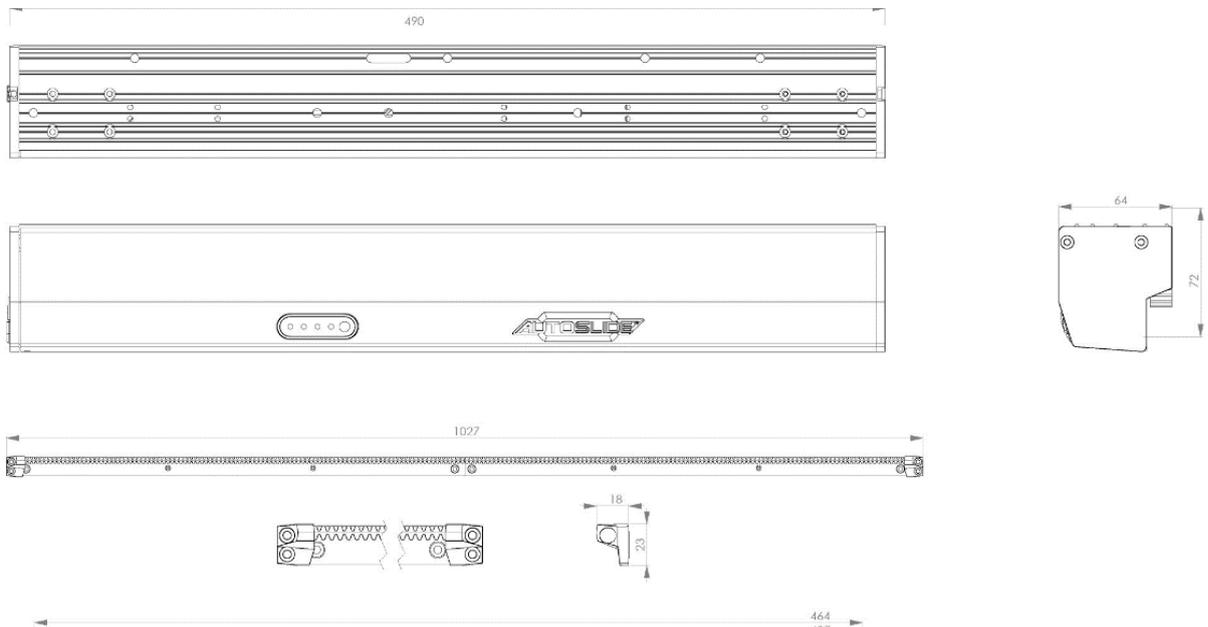




オートスライド 施工マニュアル Autoslide instruction

マニュアルver4.0



目次

- P1・・・ 施工準備
- P3・・・ オートスライド(オートスライド・ロック)の施工
- P7・・・ センサー設定
- P10・・・ テンキー設定
- P13・・・ オートスライドの初期化(トラブルシューティング)
- P16・・・ 三面図
- P17・・・ 製品保証書

I 施工準備

オートスライドはドアにレールを設置し、それにギア(歯車)のついたモータをしっかりと組み合わせることで、ドアを引きます。(国際特許申請済)

オートスライド・ロック(鍵付きタイプ)でも基本構造、施工方法はまったく同じです。

1. ドアの確認

- ① 45kg以下、1500mm幅であるか。(原理的には2000mmまで対応)
- ② ソフトクローズ機能つきドアはソフトクローズの無効化を確認してください。
- ③ ひさしがなく、雨や水が直接かかる環境では使用できません。
- ④ 浴室内部などの高温多湿環境。粉塵がある環境でも使用推奨できません。
- ⑤ 傾斜レール引き戸には施工をおすすめしません。
- ⑥ お客様で自作されたドアでは挙動が安定しない可能性がございます。自己責任にてご判断をお願いいたします。

指1本でまったく引けないドアは、オートスライドでは対応不能です。

また、ドアが途中でいちじるしく引っかかるなど、ドアそのものの不具合はオートスライドでは対応できません。

2. 本体セットの内容を確認する

1. オートスライド本体
2. レール 500mm×2
3. L字型ラック
4. ドア重量チェック用テスター※1
5. 付属ビスセット
(本体用・ドア用・L字ラックナット)※2
6. タッチスイッチ2個
7. 取説DVD
8. 家庭用AC100対応アダプター



※1. ドアテスターは取手のあるドアのみで使用可能です。

ドアをひいたとき、マジックテープ部分が外れてしまうようなドアにはオートスライドは設置できません。

※2. 付属テクスビスを使用する必要はございません、ドアにあわせ木ネジ、トラスなど、適切なビスをご用意ください。

3.必要工具を準備する

1.電動インパクト、あるいはドリルドライバー

(プラスビット、下穴用ドリルビット、10mmドリル(センサーケーブル用))

2.金鋸(レール切断時)

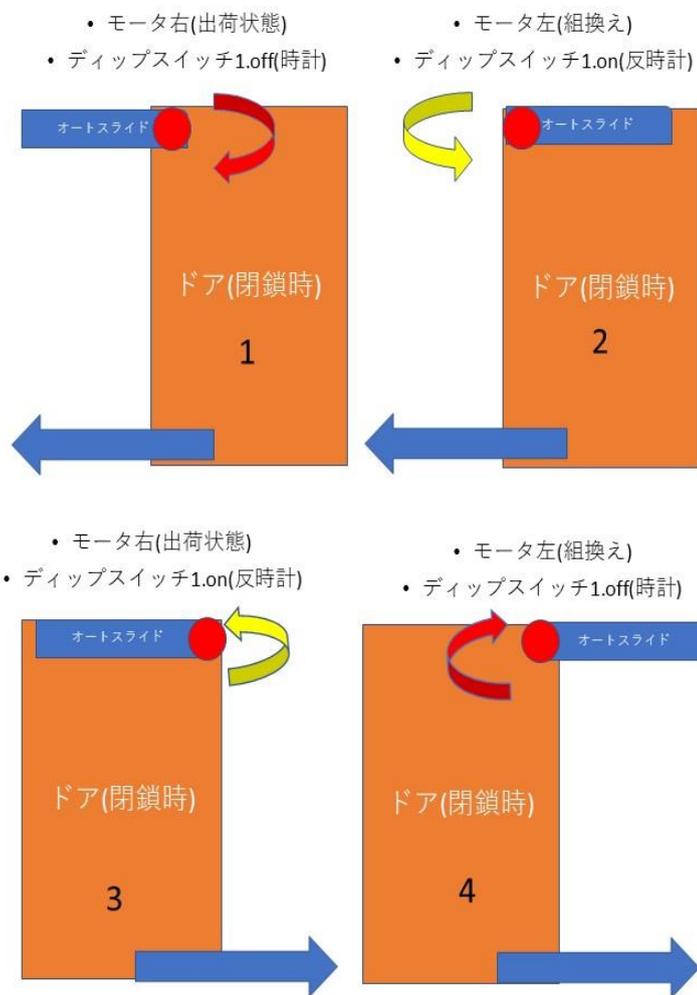
3.小型ドライバー(センサー調整用。小さなマイナスドライバーが本体に同梱されています)

4.引き方向をチェック

オートスライド出荷時は1の状態となっております。2と4の設置の場合は本体の組み換えが必要です。

組み換え時はコードの断線などに十分ご注意ください。

オートスライドの組換えとディップスイッチ



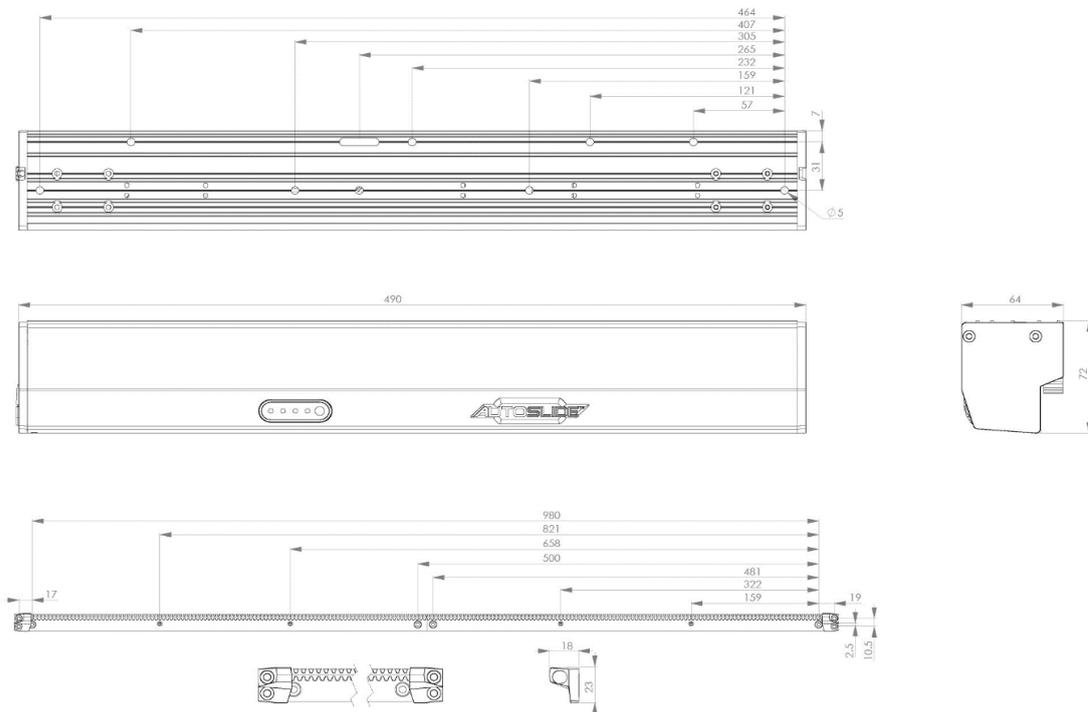
中央が出ているドアの場合は2か3で設置をご推奨します

ディップスイッチについてはp6をご参照ください。

不安がある場合はオートスライド・ジャパンにて有償にて組み換え作業もおこなっております。



オートスライド(オートスライド・ロック)の施工



1. 本体のカバーをはずす

オートスライド本体カバー(フロントカバー)は、左右のサイドカバーの+ネジを外すことではずれません。一方の再度カバーをはずし、フロントカバーを左右にスライドさせると、簡単にはずれます。

注意!

フロントカバーを外したあと、サイドカバーをふたたびベースにとりつけてください。これは、レールを取り付ける際に、干渉しないか確認するためです。

また、この時にオートスライドの組み換えが必要な場合、組み換えをおこなってください。

2. レールの準備

標準同梱されるレールは500mm×2本です。延長レールで最大1500mmのドアまで対応可能です(ドア重量45kg以内)。

1000mm以下の場合、ドア幅にあわせレール端を切断します。レールはアルミ材と特殊樹脂からなり、糸ノコで切断可能です。また、付属レールキャップは装飾用です。はめると15mm(両端設置は30cm)開閉幅が短くなります。必要に応じて設置してください。

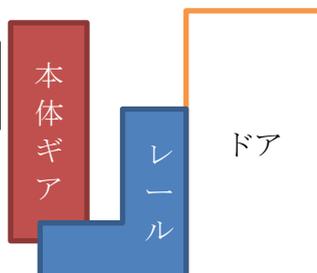
レールの設置方法には二種類ございます。基本は①のパターンで施工します。ドア形状によっては②をご選択ください

3. レールを施工する

① レールのビス穴部を上にした場合

ドア上枠(本体取り付け面)から52mm以内にレール下部がくる位置にとりつけます。(オートスライド上部ベースからは50mm以内)

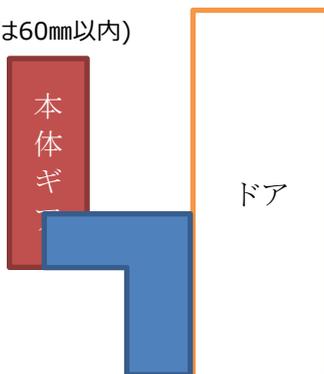
ギアはレールに1/2乗れば十分です。全ては乗りません。



② レールのビス穴部を下にした場合

ドア上枠(本体取り付け面)から62mm以内にレール下部がくる位置にとりつけます。(オートスライドベースからは60mm以内)

ギアはレールに1/2乗れば十分です。全ては乗りません。



■ 本体を先に設置し、あとでレールを設置する場合 ■

本体を先に設置し、レールをあとから設置することも可能です。

その際は、レールの幅分、本体とドアとの間を8~10cmほど離して設置することをわすれないでください。



■ サッシ中央部がせりあがっている場合 ■

鍵付きのアルミサッシの場合、中央枠(ほうだて)が大きく出ている場合がございます。

その場合、**設置方式の2か3の放棄となります。**中央枠の後ろに本体を設置し、ドアを送るかたちとなります。

アルミ角材で枠と同じ高さまでレールをもちだして設置することも可能です。作業は十分にご注意してください。

■ サッシ上枠に装飾などで凹凸がある場合 ■

レールはできるかぎり水平であることが望ましいです。凹んでいる部分にワッシャーや薄い板材などをいれて、できるかぎり水平にレールをとりつけてください。

3.本体を取り付ける(設置パターン1の場合)

正面:閉めた状態で歯車全体がレールに乗っている位置にあることを確認してください。

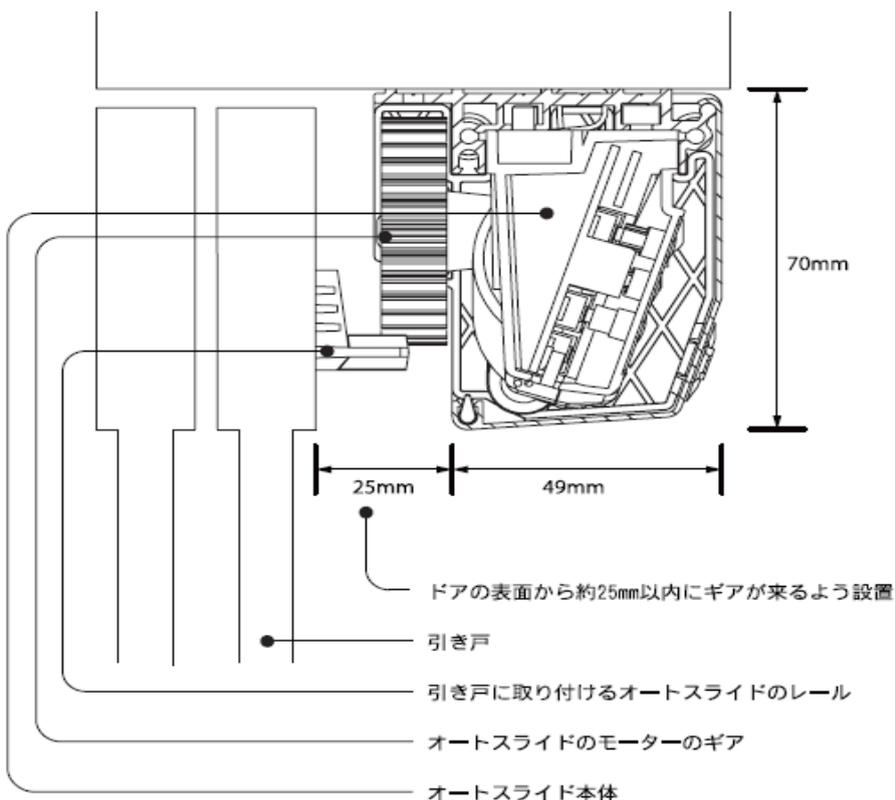
ドアが閉まった状態で、最低55mm以上(ギアがすべてレールにかかる)、ドアにモータをかぶせてください。



レールは1/2程度ギアがかかれば、十分に力が伝わります。

レールは側面からみると、傾斜しております。深くかみあわせればキツク、浅くかみあわせると、弱くかみあうようになっています。

取り付け穴は計5点ありますが、通常は奥3点ないし、横の2点のいずれを使用します。コードや本体との干渉に十分ご注意ください、必要に応じて新たな穴をあけることも可能です。



より長いL字アングルをご用意いただき、吊戸点検ハッチ上部梁など、安定した場所に固定してください。



重要 必ず以下の三点をご確認ください。

1. レールの端はしっかりととまっている。(指で押してさがらない、明らかに水平でないこと)
2. 手動でドアを引いたとき、レールとギアがかみ合い、設置以前より、かなり重い(渋い)。
3. 本体の樹脂製カバーをはめ、レールにぶつかる干渉がないこと。

■レールと歯車のかみあわせが弱く、空転する場合は■

レールの位置を変えるか、本体をレールに押し付けてください。レールの移動が難しい場合は、本体と上枠とのあいだに、0.5mmから1mm程度のスペーサー(厚紙など)をはさみ、本体をレールに密着させてください。また、レールの下から支えのためのビスを上向きで追加することでレールがやや上にあがることもございます。

4.戸当たりを設定する

オートスライドは自動で開閉可能なところ(戸当たり)まで開き、ドア幅を学習します。戸当たりでしっかりドアがとまらないとドア幅自動認識ができません。現在ドアの開閉幅そのままの場合は新しい戸当たりの設定は必要ありませんが、任意で開閉幅を決めるときは必ず、新規に戸当たりをつける必要がございます。

すべりの良いドアの場合、開ききったところで、ドアが戸当たりにあたり、跳ねかえっている場合がございます。

そのような場合も戸当たりの設定が必要です。戸当たりは、硬く、重い木材を置くか、金属アングルをドア下に固定してください。少しでも動くとは設定できません。

2台のオートスライドを使って、左右両引きにする場合

必ず二つのドアの中央部に1つ、それぞれのドアの開ききったところに各1つ、戸当たりを設定してください。

5.ディップスイッチを設定する

必要に応じて、コントローラー下部のディップスイッチを変更してください。

出荷時はすべてoff(手前)になっております。



	英語表記	off(てまえ側)	on(奥)
1	Direction/learn(引く方向)	時計回り(1と4)	半時計周り(2と3)
2	Slam Shut	モードオフ	最後に強く閉める
3	Pet learn	モードオフ	ペットモード時の幅を学習
4	N/O or N/O lock	モードオフ	外部鍵
5	MAX75%open power	モードオフ	通常の75%の出力で駆動
6	N/A		
7	Toggle	モードオフ	押すたびに開く、閉じる (トグル)
8	Beeper	モードオフ	作中に警告音

6.AC100Vコンセントアダプターを接続

オートスライド左側に100VのDCアダプター電源を接続し、一方を家庭用の100Vコンセントに接続してください。

必要に応じて、ドアモールなどを使い、電源コードがオートスライドに干渉しないようにしてください。



7.本体アダプターの左側に電源スイッチがあります。

電源を入れると、本体コントローラー中央インジケータランプがすべて順番に点滅し、

ゆっくりと開き方向に動きだします。



1)ゆっくりとドアの開閉幅(戸当たり)まで行き、もどります。(ギアとレールのかみ合い+戸当たり位置の確認)

2)素早く動き、ドアの半分くらいまで引き、もどります。(ドアの重さの確認)

二つが確認できれば**停止し、一番左の緑色のランプが点灯します。**

設定が完了しない場合、1を繰り返します。

1の動作がつけば、**ギアとレールのかみ合わせが悪い、戸当たりが確認できない、レールのビスがしっかりとまっ**
くないなどの可能性がございます。

当たりが読めない(疑似的につくった戸当たりが柔らかい、グラついている)、

- ・ドアがゆがんでいる、
- ・レールと本体のギアがしっかりとかみ合っていない
- ・レールのはしがとまっていない、水平でないなどの可能性がございます。

学習内容は電源を切っても保存されます

8.開閉テスト

コントローラー部の右側に三つの※じるしのスイッチがあります。

一番上のスイッチを押してください。

緑色のLEDが点灯し、ドアが開けば、施工完了です。

7



■ 開放時間の設定 ■

扉が開いたあと、停止する時間(待機時間)を本体下部、ディップスイッチの右にあるボリューム(Open Time)で調整できます。右にまわすと待機時間が長くなります。左にまわすと最低待機時間ゼロに設定できます。

ドアが閉まるときの速度について

オートスライドでは開くときに比べ、閉まるときは遅い仕様となっております。これは挟み込みの危険防止のためです。製品上、この速度を変更することはできません。開いてから閉まってくる速度を全体で早くするためには上記の開放時間を短くすることをオススメします。ただし、異常に速度が遅い場合は初期化によって改善される場合もございます。詳しくはトラブル&シューティングをご参照ください。

センサー設定編

無線式センサー(スイッチ)設置方法(タッチスイッチ、リモコン、マットセンサー)の設定

1.センサー設定の準備

日本版オートスライドには大別して、無線式と有線式の二種類のセンサーがございます。

無線式は配線不要です。有線式の各センサーとも併用可能です。

無線式は最大10セットまで併用使用できます。(例タッチスイッチ2個、リモコン6個、ペットマット2個など)

有線式は専用のケーブルでオートスライドから電源供給をうけるため、特別な電気工事は不要です。

センサーを設定する場合は必ず、オートスライドを設定完了させ、一番左の緑色のランプが点いた状態にします。カバーは外したままにしてください。

Wall Mounted
Push Button



V2 Remote
Control



Pet Sensor
Mat



2.本体に各種無線式センサーを登録する

無線式センサーの設定は共通です。

コントローラー部にあるsensor learnスイッチ(※部分)を押してください。

赤く点灯し、登録モードとなります。

このときにタッチスイッチ、リモコンの場合はスイッチ押してください。マットセンサーはケーブルを送信機とつなぎ、マットを踏んでください。

sensor learnのLEDが 赤く点灯すれば、登録完了です。



タッチスイッチを設置する

裏側の両面テープとなっております。ドアか壁に設置してください。

マットセンサーを設置する

マット部は床に両面テープなどで貼り付け、上にカーペットなどを敷いて使用します。マットセンサーの無線ボックスは裏面の両面テープをはがし、壁などに設置し、ケーブルでつないでください。

各種無線式スイッチの使用上のご注意点

■タッチスイッチの寿命■

電池交換式ですが、スイッチ部が摩耗するため、3~5年で本体を定期交換してください。

電池はCR2016式を4枚使用します。モデルチェンジ後新型はキバンごとはずして、電池を交換いたします。

■タッチスイッチの電池交換■

1. キバン上部(LED)のあるほうから細いマイナスドライバーをキバンの下にさしこみ、
もちあげてください。壁にとりつけたままで交換できます。
2. 下側からも同じようにドライバーで、キバンをもちあげてください。
左右に爪がありますので、爪をはずすようにもちあげるのがコツです。

電池がうまく交換できない場合は、オートスライド・ジャパンにご連絡ください。



■リモコンの使用方法■

リモコンのスイッチ4つのうち、上(ペットの足の絵)は使用しません。

横にならぶ二つがタッチスイッチと同じ働きをします。

下の※は、オートスライドのモードスイッチと同じ働きをします。

通常→途中停止→開放→ペット(使用せず)モードをセレクトできます。



■リモコンの電池交換■

電池交換時は裏側のビスを外してください。電池は27A12V用の特殊小型電池(海外製)となります。ネット通販で買い求め頂くか、オートスライドにご連絡ください。パナソニック製LRV08とは形状がことなりますので、ご注意ください。

■マットセンサー

マットセンサーは必ず上にカーペットなどを敷いてご使用ください。

敷物が厚すぎると反応しなくなります。

直接雨に当たらない場所でご使用ください。

電池切れ時は無線ボックスを空け、CR2016電池4枚交換してください。

出荷時にまれに「pet」となっております。

セレクタースイッチを動かし、必ず「HUMAN」を選んでください。



■無線式センサーの一括消去■

コントローラー部にあるsensor learnスイッチ(※部分)を8秒以上長押しすると、登録済みのすべての無線系スイッチを一括消去して初期化いたします。



人感センサー(赤外線センサー・マイクロウェーブセンサー)

		
	赤外線タイプ	超音波タイプ
長所	安価。最小感知範囲が超音波よりやや狭い。熱を反射する台車、機械などの感知は苦手	防水仕様で全天候型天候・季節の影響を受けない。人以外でも確実に感知
短所	非防水。西日・ダウンライト、白い壁は誤作動しやすい。台車、機械などの感知は苦手	最小感知範囲は赤外線より劣る。

赤外線センサーは、光(赤外線)に反応します。超音波センサーは超音波を反射して物体の移動を感知します。赤外線センサーは感知範囲をしぼると、手かざしセンサーとして使用することが可能です。

1. オートスライドを設置する

オートスライドを設定完了し、待機状態にします。

2. センサーをケーブルでオートスライド本体とつなぐ。

本体側面カバーに電動ドリルで10mmの穴をあけ、コードを通します。

センサーをケーブルでオートスライド本体とつなぎます。

不足分はケーブルを延長してください。



接続コネクタはセンサー後方から入る仕様です。

コードが干渉しないように設置してください。

オートスライドコントローラー左側上から一番と二番に、**コネクタそれぞれつなぎます。**

いずれかひとつだけつないでも問題ありません。

内と外の区別はございません。上から、三番、四番は使用しません。

3. オートスライドセンサーの調整をする(赤外線センサーの場合)

センサー本体左に電源スイッチがございます。

手前にスライドさせてください。(超音波センサーは電源スイッチはございません)



時計回りで感知範囲アップ、半時計回りで感知範囲ダウン

センサーは感知部分の角度をかえられます。

ドアの真下を感知したいときは、角度を0にしてください。

センサーは出荷時に一度、時計まわりでゼロにして、そこから少しずつ出力をあげていくと設定しやすいと思います。

調整ネジは非常にこわれやすいため、付属ドライバーか、眼鏡ドライバーなどをご使用ください。

ドアの裏表に設置時はひとつずつケーブルを入れて設定してください。

反対側のセンサーが感知すると、設定できない場合がございます。

ピン参考 (外部機器の出力接点と接続時は黒と黄色のみを接続してください。短絡させることで、起動します)

ピン色	赤	黒	黄色
	12V (6V)	GND	NC

専用コードアッセンブリを使用すれば、一般的な自動ドア用センサー、FA機器と連動可能です。詳細はお問い合わせください。

オートスライド・ロック(鍵付き)・テンキー説明書

オートスライドロック(鍵付き)には専用テンキーが付属します。

お客様のご指定した6桁の暗証番号をいれると解錠し、自動でドアが動きます。ま

た、テンキーと併用して専用カードを登録することで、カードでの解錠も可能です。

1. オートスライドを設置する 1

オートスライドを設定完了し、待機状態にします。

2. テンキーをケーブルでオートスライド本体とつなぐ。

オートスライド本体コネクタの上から1,2番とテンキーを接続します。



テンキー登録・設定

すべての登録、変更、設定はプログラムモードに入ることで行います。

■プログラムモードへの入り方■

1. #####(シャープを4回)押します。
2. 赤ランプが消え、緑ランプがいたら プログラム用パスワード(初期値は123456#)を押してください。
- 3/緑が点滅すれば成功。
(プログラムパスワードは設定専用のパスワードです。入室アクセスパスワードとは別です)

■新規にカードを登録し、自動的にカード番号を割り当てる■

プログラムモードに入り、1を押し、カードをかざします。無登録のカードの場合、短く「ピ」と鳴ります。すでに登録しているカードを、かざすと、長く「ピー」となります。必要なだけ、連続してカードを次々とかざしてください。登録後に#を押します。登録した順番カード番号が0001、0002、、、と、割り当てられます。最後に※を押します。赤いランプ点灯で通常モードにもどりました。

■入退室アクセスパスワードの変更（初期値は空白か、テスト用に123456が入っております）■

プログラムモードに入り、6を押します。
 “新しいパスワード”#“新しいパスワード”#
 ※を押して完了です。

プログラムモード→各設定一覧

入力キー	設定内容	登録方法
0	プログラム用パスワードの変更	0を押し、“新しいパスワード”#“新しいパスワード”#の順に入力。
1	カードを連続登録する(番号自動付与)	1を押し、カードをかざし、登録。#で完了します。とくに管理を必要としない場合はこのモードで登録してください。最大6000枚まで登録可能です。
2	カード番号を指定して登録	2を押し、未登録カードをかざします。“未登録カード番号”を入力し、#を入力します。登録済カードでは「ピー」というエラー音がなります。登録カードにNo.を表記するなどして管理する必要となります。
3	カードを登録削除	3→0を押し、カードをかざす→#、読取ったカードの登録削除。 3→1を押す(カード番号入力)→#入力したカード番号登録削除・ 3→2を押す、9999#、登録済みすべてのカード一括削除。
4	モード(通常はカード&パスワード併用モードとしてください)	4→0を押す。カード&パスワード併用モードに入る 日本版では、カード&パスワード併用モードを推奨しております。 4→2を押すとパスワードのみのモードに入る。
5	開放時間を伸ばす	5→03#で3秒間開放を延長後に閉まります
6	アクセスパスワードの設定、変更、	アクセスパスワードの設定、変更、 6を押す “新しいパスワード”#“新しいパスワード”#(6桁のパスワード)

各モード設定後、※を入力することで通常モード(赤いランプ点灯)となります。

オートスライド・トラブル&シューティング

基本は以下となります。

1. 施工を改善
2. 初期化をする
3. 初期後に再設定できない場合は再度1へ。

オートスライドの設定の初期化

- 1) 電源をいれます。
- 2) ディップスイッチ1を現在の設定方向と反対(例:on→off)に倒します。ドアが動き出します。
- 3) ディップスイッチ1もとの設定方向へもどします。(例:off→on)

先ほどとは逆側にドアが動き出せば初期化完了です。

Q1. 本体の設定ランプがいつまでも消えず、左→右の順番に点滅している。

オートスライドの設定が完了しておりません。オートスライドはドア幅、かみ合わせ、異物、重さを認識します。レールの施工が悪い、ドアにガタツキがある、ソフトクローズ装置がついている。吊り戸が揺れる、などの場合、各数値が安定せず、設定が完了しません。以下の1~4の常態を確認し、問題あれば施工を改善してください。

1. レールは水平に施工され、両方および、各部がドアにしっかりと固定されていること。
(指で押してさがらない、中央部や両端をとくにチェック)
2. 手でドアを引いたとき、レールとギアがかみ合い、設置以前より、かなり重い(渋い)こと。
3. 本体の樹脂製カバーをはめ、レールにぶつかる干渉がないこと。
4. 戸当たりは硬く、動かないものを使っていること。

Q2. 大きな音がする。空転する。 1

オートスライドのレールと歯車がしっかりかみ合っていない可能性があります。空転がひどいとレールが欠ける場合もございます。歯車とレールがしっかりかみあうように**施工改善したのち、初期化をおこなってください。**

Q3. 設定動作途中で停止し、戻る

レールと本体の歯車のかみこみが強すぎる場所があるか、戸車や吊り金具に不具合があるようです。ややかみ合わせを弱くし、戸車や吊り金具など、ドアそのものの検品をしてください。

Q4 設定完了したが、ドアが全開したまま、とまる。

開閉方向を決めるディップスイッチの設定と引く方向が間違っています。オートスライドは左引きか右引きかを自動判断します。最初の電源投入時に登録を間違えたとおもわれます。**初期化をおこなってください。**

Q5.設定完了したが、ドア開閉速度が速い。

オートスライドはドアの重さに応じて、一定速度で引くようにパワーを制御しております。それでも早すぎる場合はディップスイッチ5をonにしてください。25%落とした速度引きます。ただし、ドアを閉めるときの速度は変えられません。戻り時の速度がゆっくりであるのは、挟み込み防止のためです。ご了承ください。

Q6.動作がおかしい。大きな音をする。ドアがレール以上に行こうとする。

オートスライド動作中に無理やり手で開閉をされなかったでしょうか？ギアがレールから外れてしまった際に、レールとの隙間があき、かつドア幅の設定が狂っております。施工をやり直したうえで、初期化を行い、再学習をおこなってください。

注意

オートスライドに必要以上に手で力をいれると、モータ内部のギアが欠損したり、大きな電流が流れ、コントローラーを故障させることもございます。お客様起因の不具合の場合は、有償修理となります。ご了承ください。

Q7. 吊り戸の点検ハッチにL字アングル設置したが、設定が完了しない。挙動が安定しない。

オートスライドのL字アングルは必ず梁に固定してください。吊戸の点検ハッチなどは薄いため、ドアを引いたときの力がうまく伝えられず、誤作動をおこします。また、固定が安定せず、最悪、落下のおそれがございます。お客様でハッチ上部にオートスライドを吊るせるようなL字アングルをご用意ください。

Q8.付属のL字アングルオートスライドを設置したが、ギアとレールがうまくはまらない。

オートスライドのL字アングルは上枠とドアとの段差がゼロであるときを想定した設計となっております。上枠よりドアのほうがでている、入っている場合、L字アングルの下にも梁のかわりとなる木材などをかまして、オートスライドの位置を調整してください。

Q9.ドアにゴムがはってある、ドアそのものがゆがんでいて、最後に少し隙間があく。

ディップスイッチの2番をオンにしてください。最後に強く押し付ける動作をいたします。

Q10.ドアの動きがどことなくぎこちない。寒い朝などにうまく動かない。

ドアが経年による変化、季節の温度差などで、オートスライドを設置した学習したものと異なっている可能性がございます。異常原因を確認し、初期化し、最新のドア状態をオートスライドに再度読み込ませてください。

Q11.ひらいたとき、ドアが跳ね返る。行ったり来たりしている。

吊戸や新品ドアの場合、慣性でドアが走りすぎることがあります。設定よりドアがすべり、戸当たりにあたった場合、オートスライドは異常だと感知し、ドアの開閉を繰り返します。この場合、実際に戸当たりより、10cmほど手前に疑似的に戸当たりを作成し、一度ドア幅を学習させたのち、疑似的な戸当たりを除去してください。

Q12.閉まったときに、はさまれても反転しない。

オートスライドの初期設定が完了しておりません。再度初期化してドアを読み込ませてください。

センサー・トラブル&シューティング

Q1.タッチセンサーが効かない

LEDが消えている場合は電池切れの可能性がございます。CR2016型コイン電池4枚を交換してください。電池交換の際、まれに本体とのセンサー登録が無効化されてしまう場合がございますため、再登録してください。

注意:タッチスイッチは消耗品です。

電池交換をおこなっても改善しない場合は接触部の摩耗と考えられます。オートスライドのタッチスイッチは家庭用途で5年程度の寿命を想定しております。店舗や施設でご使用の場合は、想定より早く寿命がくる場合もございます。

Q2. 有線センサーを設置したが、中央の赤いランプが点灯したままで、ドアが開きっぱなしになる。

人感センサーの出力が強いか、角度が悪く、なにかに反応しております。センサーの調整が必要です。センサーの黒いカバーを開けて、右側にあるボリュームをマイナスドライバーで反時計まわりにまわして調整してください。

Q3.調整済の赤外線型人感センサーが、ある瞬間だけ、誤作動する。

赤外線式有線センサーは西日や雪の反射、白い壁、床、ダウンライトなどでの誤作動が報告されています。取り付け位置を工夫して誤作動をおこさないようにするか、赤外線式ではない超音波センサーをご使用ください。

Q4.調整済の超音波型人感センサーが、ある瞬間だけ、誤作動する。

超音波センサーは赤外線センサーより誤作動が少ないですが、振動に弱いというデメリットがございます。

設置が不安定である。近くに大きな機械があり、作動音がある場合は誤作動をする可能性がございます。

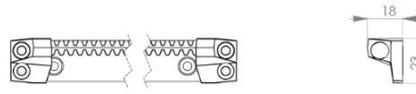
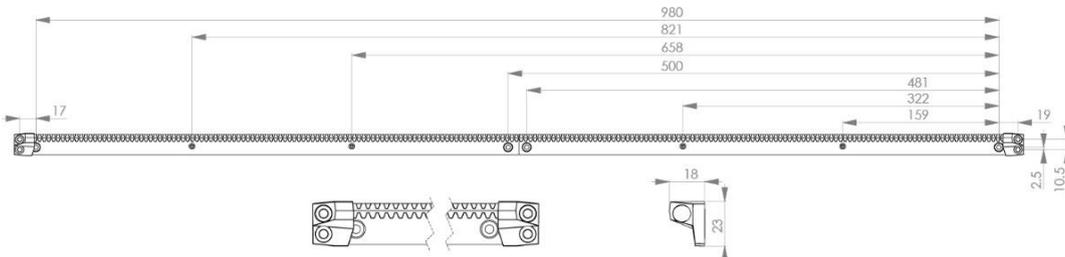
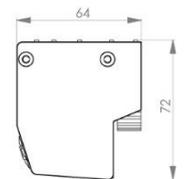
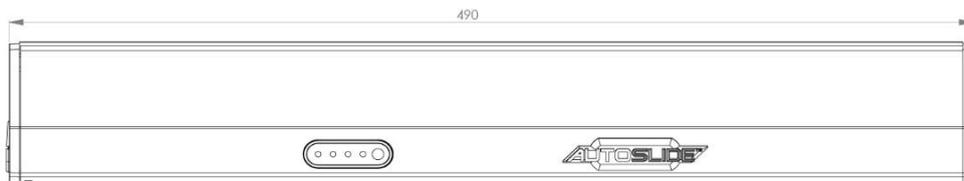
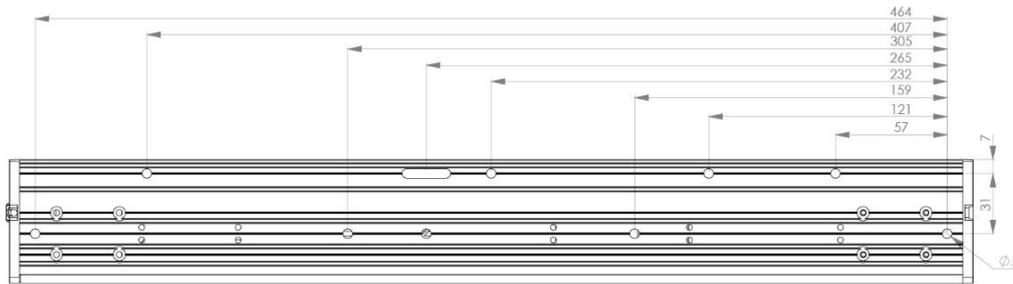
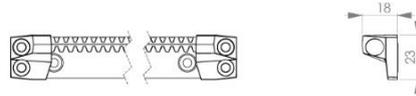
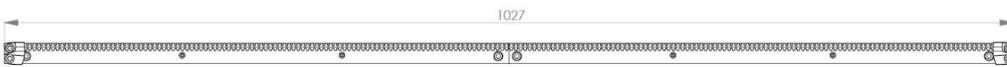
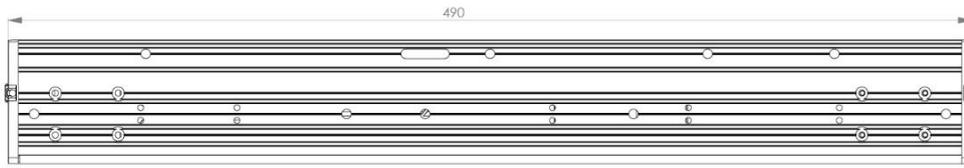
オートスライドには用途にあわせて様々な純正センサーがございます。用途にあわせてご使用ください。

	ご家庭	店舗入り口	工場(台車)	車いす・介護	ペット
無線タッチスイッチ (標準同梱)	○	△	×	×	×
無線リモコン (キーホルダー型)	○	△	○	○	×
無線マットセンサー (60cm×45cm)	○	○	△	△	○
赤外線センサー (有線ケーブル式)	△	○	△	△	×
超音波センサー (有線ケーブル式)	△	○	○	△	×

用途にあわせたセンサーを使用しているかご確認ください。

○適している △使えるが不便あり ×適していない

オートスライド・各寸法



オートスライド 製品保証書

このたびは、私共の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本保証規定は、お買上製品に万一異常が生じた場合、弊社代理店へサポートをお受けいただく際に必要な、保証の内容が規定されております。必ず最後までご一読の上、大切に保管していただきますよう、お願い致します。安全に十分に配慮し、正常な使用状態(マニュアル、本体記載仕様にそった使用)で故障した場合、購入いただいた私共の代理店までご連絡ください。無償修理させていただきます。

保証期間は商品がお客様のお手元に届いてから一年間となります。製品はシリアルナンバーにて管理されております。製品シリアルナンバーは本体モータ部に記載されております。

1. 保証期間

オートスライドおよびその付属品、オプションの保証期間は、お買い上げ後 1年間です。

2. 保証範囲

- (1) 上記保証期間中にオートスライドの製造責任による故障が発生した場合、新品交換ないし故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。上記期間外であっても製造責任上による瑕疵が認められた場合は保証対象とさせていただきます。
- (2) 訪問での故障診断は行いません。該当する製品を弊社に送付して頂くことで確認させていただきます。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)とさせていただきます。
 - ① 本保証書のご提示がない、本保証書を紛失した場合
 - ② お客様の施工ミスによる破損・故障
 - ③ お客様による不正な修理や改造に起因する故障
 - ④ 当社製品がお客様の設備・装置と組み込まれて使用された場合、お客様の機器に起因する理由で故障した場合
 - ⑤ 火災等の不可抗力による外部要因、地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑥ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑦ 船舶や車両、水平垂直レベルの困難な場所に設置した場合
 - ⑧ お買上後の輸送・施工時の落下、衝撃等による故障および損傷
 - ⑨ 取付許容範囲外のドア仕様および運用環境による故障および損傷
 - ⑩ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障

3. 本製品の施工にともなう建具等への保証責務の除外

本製品の施工に伴い、設置した建具、建築物に不具合、欠損が起きた場合、その責務一切は施工者に起因するものとし、オートスライド販売者は何ら保証責務を負いません。

4. その他の保証責務の除外

期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地設備の再調整・試運転業務に対する補償については保証責務外とさせていただきます。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

保証期間に故障が発生した場合、本書をご提示の上、弊社代理店あるいは次記までご連絡ください。

製品名	オートスライド
駆動方式	ラック&ピニオン方式
本体色	黒または白
適用ドア寸法※1	～高さ2400mm 幅3000mm～1960mmまで最大延長可能(日本版独自基準として1500mmまで)
設置可能ドア重量	45kg
色	ブラック/ホワイト
防水・防塵機能	IP20相当。防水機能なし
使用環境	0～45℃ 湿度85% 本体内部に結露無きこと。屋内環境で設置推奨
機能※2	自動開閉機能 : センサー・スイッチによる開閉 自動安全装置 : 人や物がはさみ込まれると反転
電源	AC100V～50/60Hz 駆動部24V 3A以下
外形寸法	490mm(L)×70mm(H) ×65mm(w)ラック1000mm
本体重量	1.6Kg

お問い合わせ先:オートスライド・ジャパン(株式会社ファースト・レイズ)
群馬県桐生市川内町3-119-3 電話0277-51-497

(オートスライド輸入販売元)
アースウォーカーレーディング株式会社
大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19階



AUTOSLIDE®

オートスライド

監修・作成 株式会社ファースト・レイズ

オートスライド・ジャパン

株式会社ファースト・レイズ

アースウォーカー・トレーディング株式会社